

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野令和3年度ボランティア養成講座を開催しました。

令和3年10月16日
障害者相談支援事業所ハンズ宮城野

令和3年10月16日(土)、令和3年度ボランティア養成講座を開催し、9名が参加しました。第一部はDVD「心のバリアフリーについて学ぼう～メッセージ編」を上映後、「障害者に対する合理的配慮について」と題して宮城野障害者福祉センター鈴木成貴所長が講義を行いました。

第二部は実技「車いす操作体験」「視覚障害者誘導体験」を行いました。車いすの操作体験・介助体験では「段差を乗り越えるのが大変」「方向転換をするのが難しい」などの意見が出ておりました。

視覚障害者誘導体験はペアになり、1人は白内障や視野狭窄を体験するゴーグルを着け、もう1人は誘導する側になって体験を行いました。柔らかいマット等、足元が不安定な場所を移動する時、誘導する側は前もってタイミングよく適切に声をかけ、介助される側が安心して移動できるように配慮する必要があることを学びました。

アンケートの結果では、「当事者・支援者どちらも体験できたことにありがたく思い、今後の生活、日常的な面やそのような場面にあった時に対応できるようにしたいと思いました」「障害者の目線になれた」「声かけのタイミングを学べた」等の意見がありました。今後も皆様にとって、役立つような情報提供が出来る講座を企画していきたいと思っております。

【講座風景】

